

平成24年9月21日
議員提出条例検証特別委員会

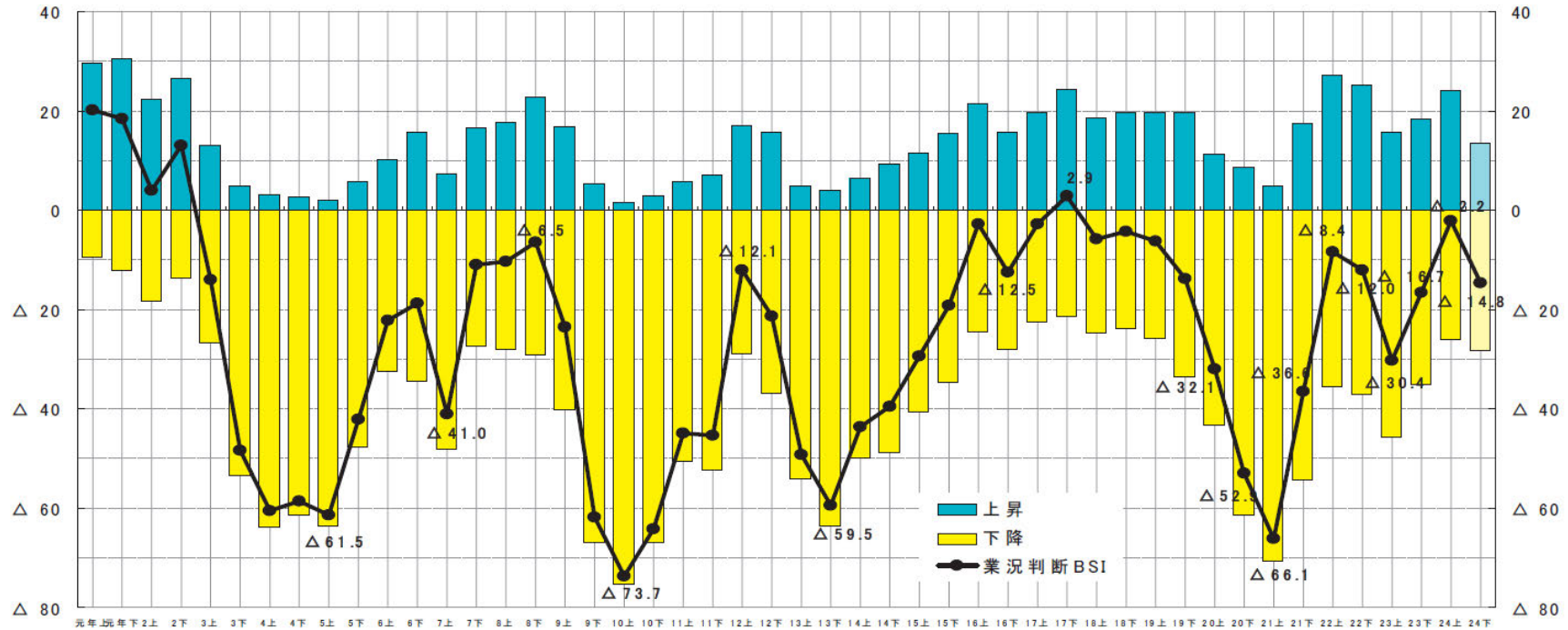
県内地域産業の現状と課題

株式会社百五経済研究所
地域調査部部長 中畑 裕之

三重県全体の 経済の現状と課題

県内企業の業況上期改善、下期下降

三重県内企業の業況判断 BSI の推移(前年同期比)



「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、次の算式で算出している。

$$\frac{\text{上昇(増加・好転)企業数} - \text{下降(減少・悪化)企業数}}{\text{有効回答企業数}} \times 100$$

DIが「良い」「悪い」の水準を問うものであるのに対し、BSIは「上昇」「下降」の変化方向を問うもの。
 本調査では、前年同期と比べた、「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

輸送用機械・運輸倉庫急回復するも下期は厳しく、地場産業は厳しさ続く

●業種別(小分類) 業況判断BSIの推移(三重県)

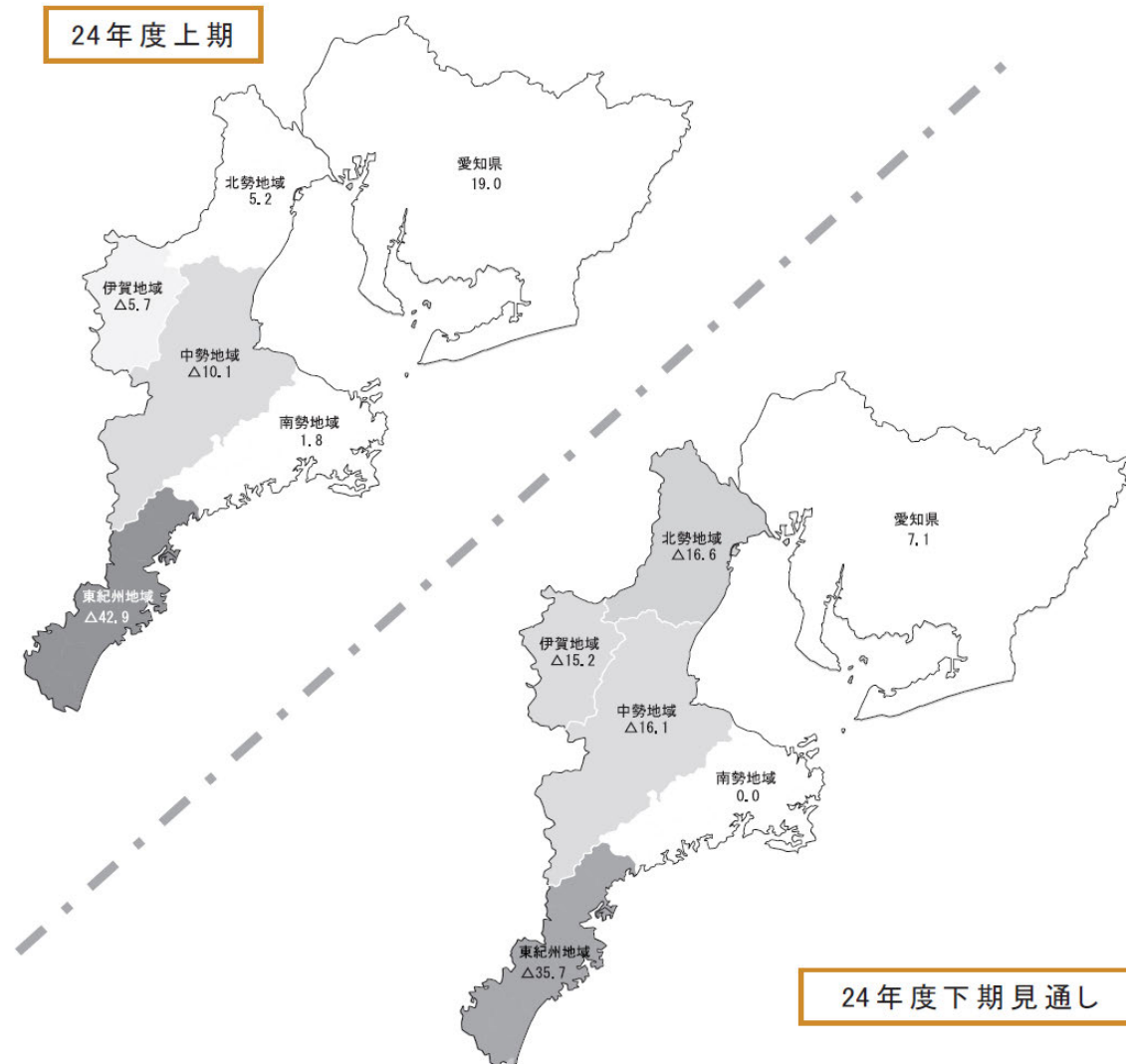
	20上	20下	21上	21下	22上	22下	23上	23下	24上	24下見通し
全業種	△ 32.1	△ 52.9	△ 66.1	△ 36.6	△ 8.4	△ 12.0	△ 30.4	△ 16.7	△ 2.2	△ 14.8
食料品	△ 24.2	△ 33.4	△ 25.0	△ 21.4	△ 14.6	△ 12.2	7.9	△ 27.8	0.0	12.9
繊維	△ 50.0	△ 50.0	△ 77.8	△ 50.0	44.4	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0	10.0	10.0
印刷	△ 38.5	△ 50.0	△ 66.7	△ 62.5	△ 38.5	△ 44.4	△ 76.9	△ 75.0	△ 12.5	△ 50.0
石油・化学	△ 30.0	△ 52.7	△ 75.0	0.0	33.3	27.8	△ 20.0	△ 31.8	△ 5.9	18.8
窯業・土石	△ 69.2	△ 49.9	△ 57.1	△ 60.0	△ 50.0	△ 7.7	△ 5.9	△ 8.3	7.7	△ 23.1
一般機器	△ 25.0	△ 52.4	△ 80.8	△ 40.7	28.0	52.4	0.0	30.0	4.3	△ 4.8
電気機器	△ 31.8	△ 69.6	△ 81.0	△ 9.5	11.1	34.6	△ 5.0	△ 5.9	0.0	0.0
輸送用機器	△ 26.9	△ 86.4	△ 85.2	15.2	51.4	0.0	△ 51.6	△ 7.1	41.7	△ 30.4
その他製造	△ 1.8	△ 54.8	△ 74.0	△ 13.8	12.1	39.1	△ 6.3	3.7	0.0	△ 12.9
製造業	△ 24.5	△ 55.1	△ 66.7	△ 18.5	10.9	12.0	△ 15.6	△ 9.5	6.3	△ 6.5
建設	△ 32.5	△ 50.0	△ 63.9	△ 51.6	△ 39.4	△ 31.7	△ 41.1	△ 26.5	△ 14.8	△ 28.3
不動産	△ 33.3	△ 62.5	△ 22.2	△ 20.0	0.0	11.1	0.0	△ 11.1	△ 33.3	△ 11.1
卸売	△ 36.4	△ 51.9	△ 66.7	△ 39.3	△ 31.0	△ 11.1	△ 19.4	△ 9.1	△ 9.7	△ 23.3
小売	△ 32.6	△ 40.6	△ 52.4	△ 31.4	△ 7.0	△ 36.8	△ 24.4	△ 15.2	2.9	△ 22.9
運輸・倉庫	△ 57.1	△ 68.2	△ 89.3	△ 48.0	19.0	△ 4.5	△ 37.0	△ 18.2	39.1	△ 9.5
観光・宿泊	△ 63.6	0.0	△ 85.0	△ 88.9	△ 14.3	0.0	△ 69.6	△ 23.5	5.9	11.8
サービス	△ 18.9	△ 43.7	△ 58.6	△ 44.9	△ 30.0	△ 46.9	△ 51.0	△ 20.0	△ 15.2	△ 31.1
非製造業	△ 35.4	△ 46.9	△ 64.1	△ 46.7	△ 22.1	△ 26.9	△ 38.0	△ 19.4	△ 4.7	△ 21.4
製材・木製品	△ 80.0	△ 87.5	△ 75.0	△ 50.0	△ 11.1	12.5	△ 66.7	△ 36.4	△ 42.9	0.0
真珠養殖	△ 100.0	△ 100.0	—	100.0	—	0.0	0.0	—	—	—
真珠加工販売	△ 60.0	△ 80.0	△ 85.7	△ 25.0	0.0	△ 66.7	△ 71.4	△ 75.0	0.0	△ 33.3
鋳鉄鋳物	△ 33.3	△ 75.0	△ 72.7	△ 100.0	△ 16.7	△ 12.5	20.0	25.0	△ 50.0	△ 50.0
萬古焼製造	25.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 75.0	△ 33.3	△ 100.0	0.0	0.0
萬古焼卸売	△ 36.4	△ 63.6	△ 72.7	△ 90.0	△ 54.5	△ 100.0	△ 76.9	△ 53.8	△ 45.5	△ 9.1
地場産業	△ 47.7	△ 76.3	△ 75.6	△ 65.0	△ 29.4	△ 47.2	△ 56.1	△ 36.8	△ 38.5	△ 15.4

※地場産業はサンプル数が少ないため、指数の振れにご注意下さい。

24年度上期、北勢、南勢地域プラスに、 下期は下降の見通し

●地域別の業況判断 BSI の動向

※東紀州地域はサンプル数が少ないため、指数の振れにご注意下さい。



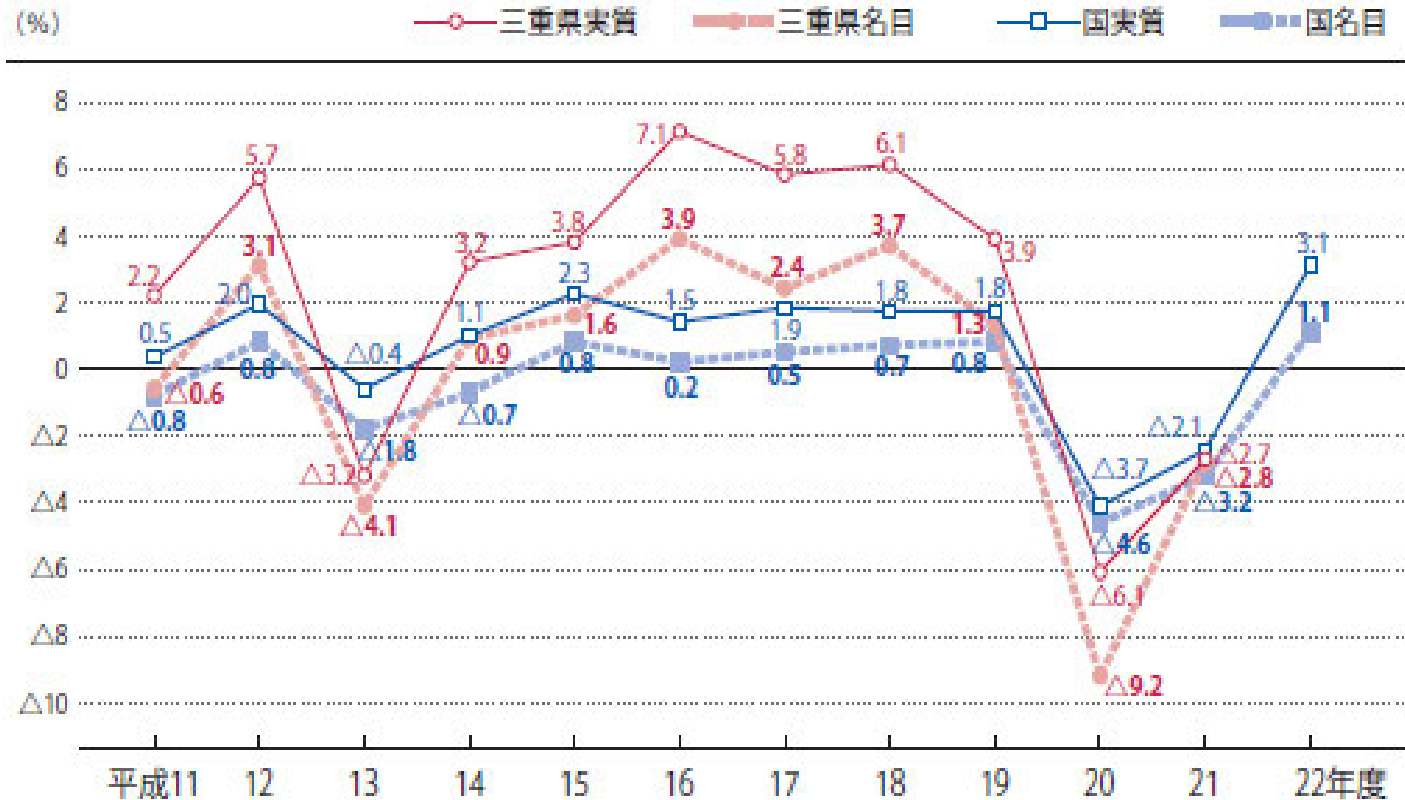
三重県の経済成長率は国全体より 上下に振れ易い

■経済成長率の推移

(注1) 93SNA

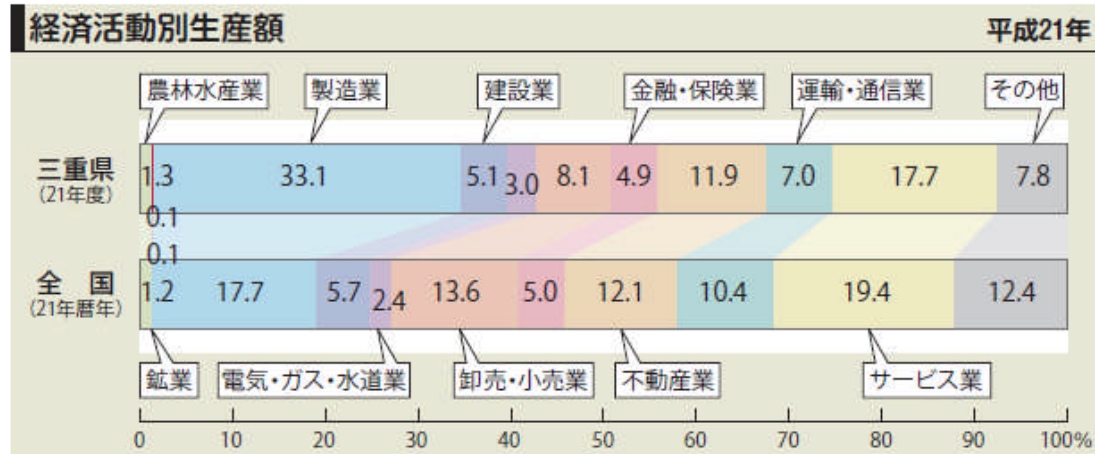
(注2) 県は「三重県民経済計算結果21年度」による、平成12年を基準とする連鎖方式。

(注3) 国は「平成22年度 国民経済計算確報(支出側系列)」平成23年12月9日公表による。平成17年連鎖価格。



資料：三重県統計室「三重県民経済計算結果」内閣府「国民経済計算」

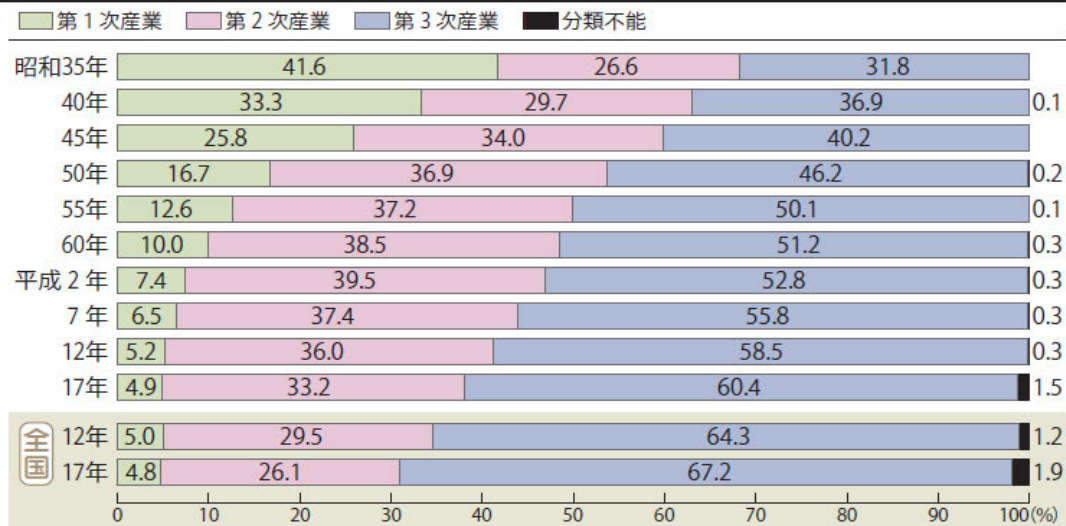
経済に占める製造業の割合が高い、 製造業の発展を基に三重県も成長



(注)その他は、「政府サービス生産者」「対家計民間非営利サービス生産者」「輸入品に課される税・関税」「(国のみ)統計上の不突合」の和から「帰属利子」「総資本形成に係る消費税」を控除したもの。

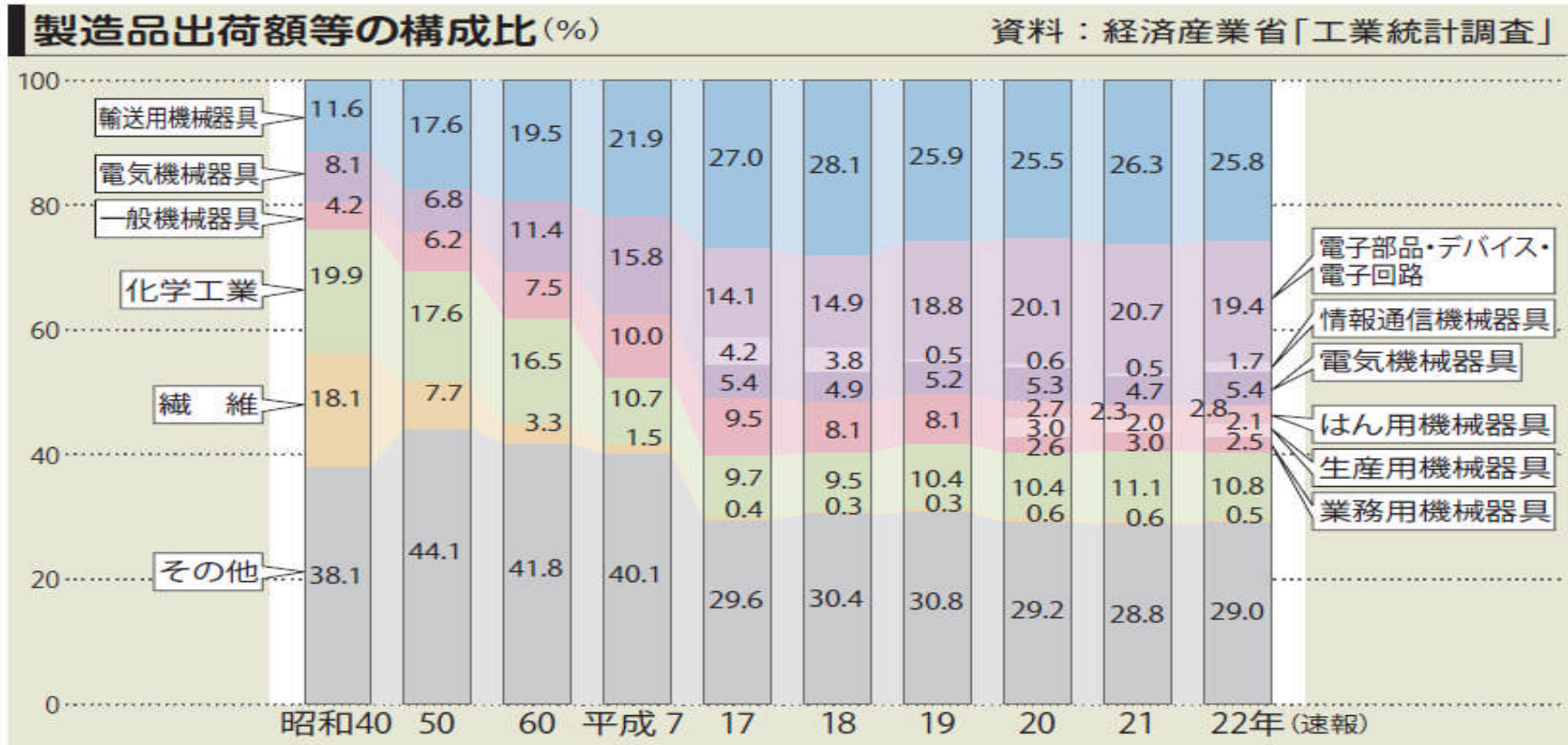
資料：三重県「県民経済計算結果(平成21年度)」
内閣府「国民経済計算結果(平成21年暦年)」

産業別の就業者割合



資料：総務省「国勢調査」

電子部品等の立地で製造業の多様性は広がった



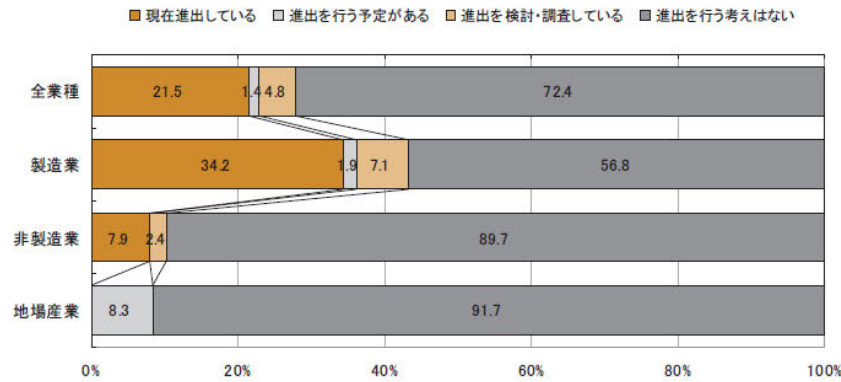
(注1) 従業者4人以上の事業所

(注2) 平成14年に日本標準産業分類が改定され、これまでの「電気機械器具製造業」は「電子部品・デバイス製造業」「情報通信機械器具製造業」「電気機械器具製造業」の3つに区分された。

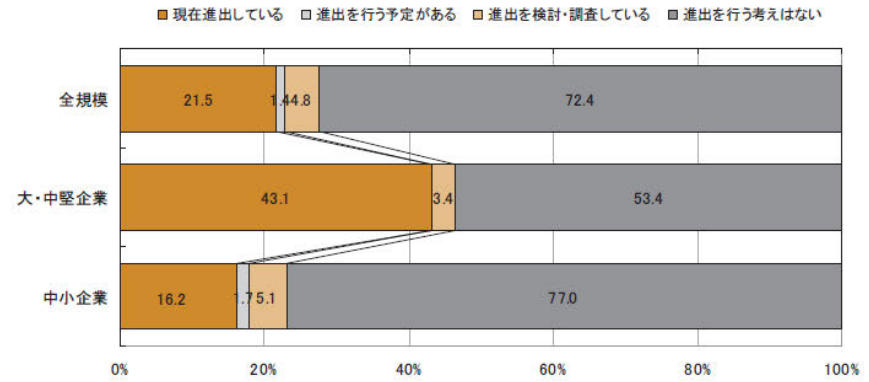
(注3) 20年より工業統計調査用産業・品目分類が改訂され、中分類ベースでの改定内容は次のようになっている。「繊維工業」と「衣服・その他の繊維製品製造業」を統合し、「パルプ・紙・紙加工品製造業」、「化学工業」、「窯業・土石製品」の一部を移設し、新たに「繊維工業」が設けられた。「一般機械器具製造業」を分割するとともに、「精密機械器具製造業」及び「その他の製造業」の一部を統合し、「はん用機械器具製造業」、「生産用機械器具製造業」、「業務用機械器具製造業」が新設された。

非製造業、中小企業で近年急速に 国際展開進展

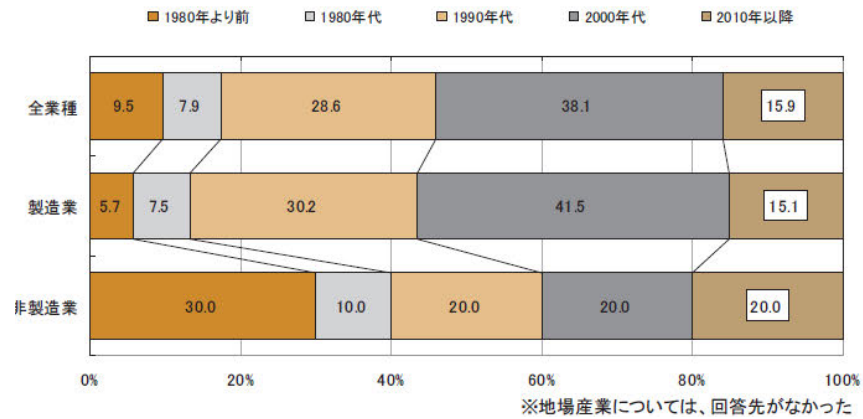
業種別の海外進出状況 (n=293)



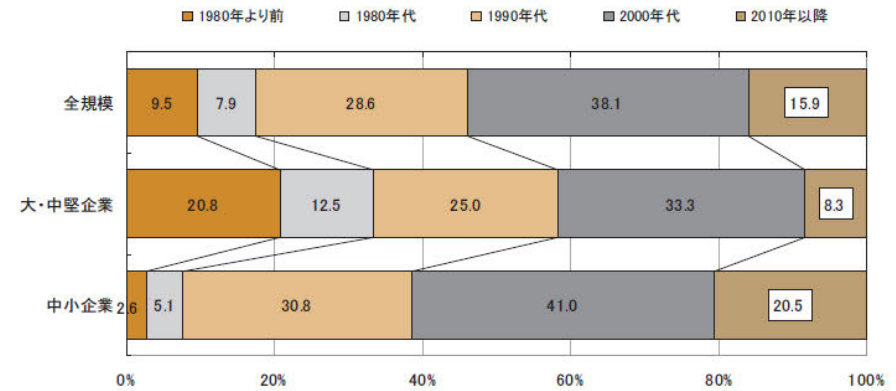
企業規模別の海外進出状況 (n=293)



業種別の海外進出時期 (n=63)



企業規模別の海外進出時期 (n=63)

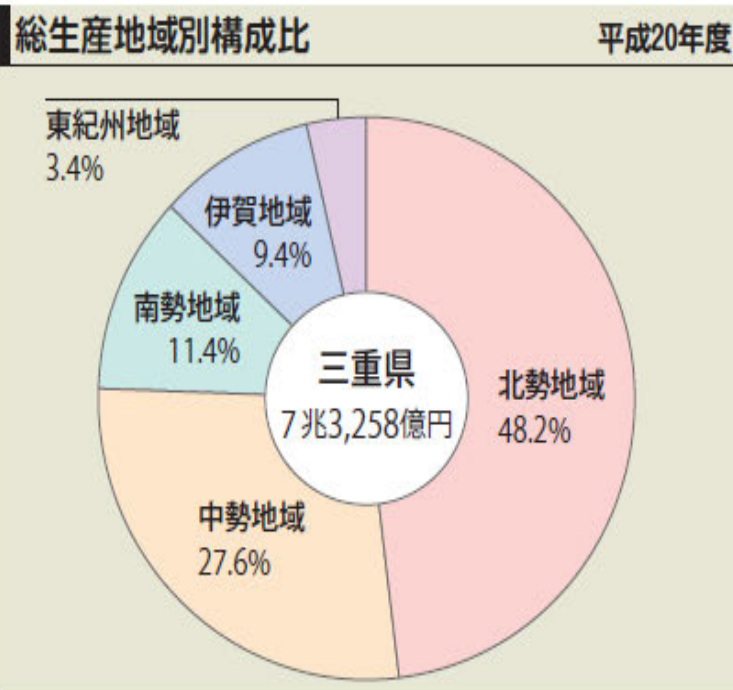


地域別の産業の概況

地域により 経済規模に大きな違い

三重県を5地域に分けて経済規模をみると、北勢地域が5割弱を占め、中勢地域を合わせると、県全体の総生産の4分の3を占めている。人口や従業者数でも北勢地域、中勢地域の占める割合が高く、県の南北で経済規模に大きな違いがある。

[関連ページ](#) ▶ P24「県民経済計算」、P26「人口」、P28「就業」



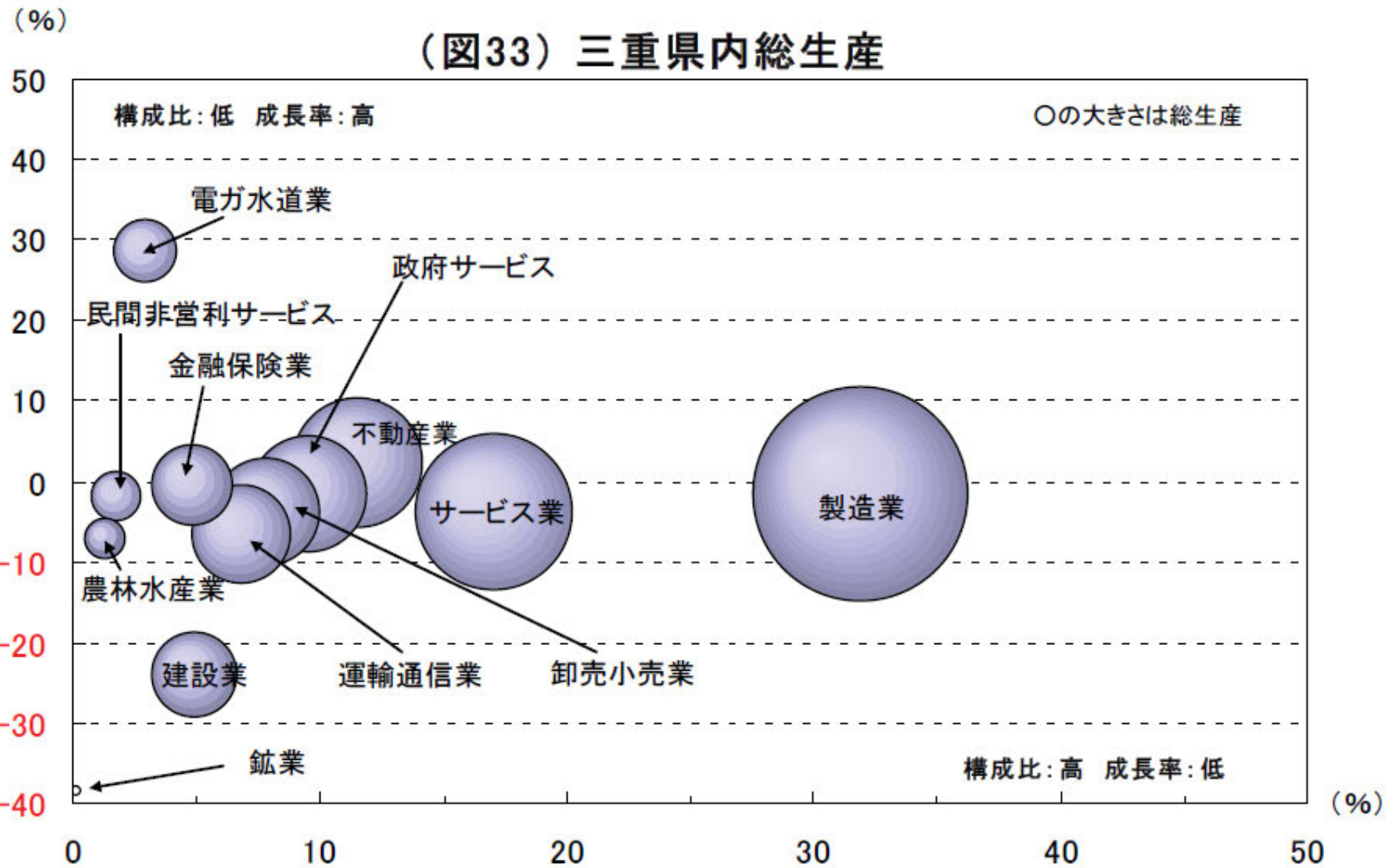
資料：三重県「三重県の市町民
経済計算(平成20年度)」

事業所数、従業者数に加え、 一事業所あたりの従業員数でも差

■地域別の事業所数、従業者数(全事業所)				
(注)事業内容等が不詳の事業所は含まない。	事業所数		従業者数	
	平成18年	平成21年	平成18年	平成21年
	所	所	人	人
合計	85,865	88,392	833,745	895,637
北勢地域	33,579	36,158	377,307	416,788
四日市市	13,607	14,890	152,728	171,703
桑名市	5,917	6,332	57,102	60,556
鈴鹿市	6,903	7,283	80,057	88,295
亀山市	1,887	1,950	24,492	25,626
いなべ市	1,883	1,979	25,282	28,260
木曾岬町	277	293	2,958	3,300
東員町	811	845	8,992	9,593
菰野町	1,406	1,601	13,879	16,452
朝日町	296	305	4,410	4,818
川越町	592	680	7,407	8,185
中勢地域	23,504	23,875	232,269	245,937
津市	12,188	12,550	134,977	144,602
松阪市	9,224	9,095	76,378	79,585
多気町	684	748	8,265	8,922
明和町	701	791	8,086	8,342
大台町	707	691	4,563	4,486
南勢地域	15,127	14,890	113,013	117,676
伊勢市	7,493	7,438	61,471	64,547
鳥羽市	1,710	1,633	11,681	11,324
志摩市	3,477	3,380	22,514	23,092
玉城町	497	542	6,451	7,377
度会町	425	401	2,416	2,498
大紀町	665	624	3,864	3,924
南伊勢町	860	872	4,616	4,914
伊賀地域	7,926	8,004	78,102	82,250
名張市	3,257	3,148	28,849	29,581
伊賀市	4,669	4,856	49,253	52,669
東紀州地域	5,729	5,465	33,054	32,986
尾鷲市	1,671	1,606	9,372	9,518
熊野市	1,546	1,492	8,777	8,890
紀北町	1,375	1,257	7,654	7,300
御浜町	547	545	3,539	3,347
紀宝町	590	565	3,712	3,931

資料：平成18年は総務省「事業所・企業統計調査」、平成21年は総務省「経済センサス」

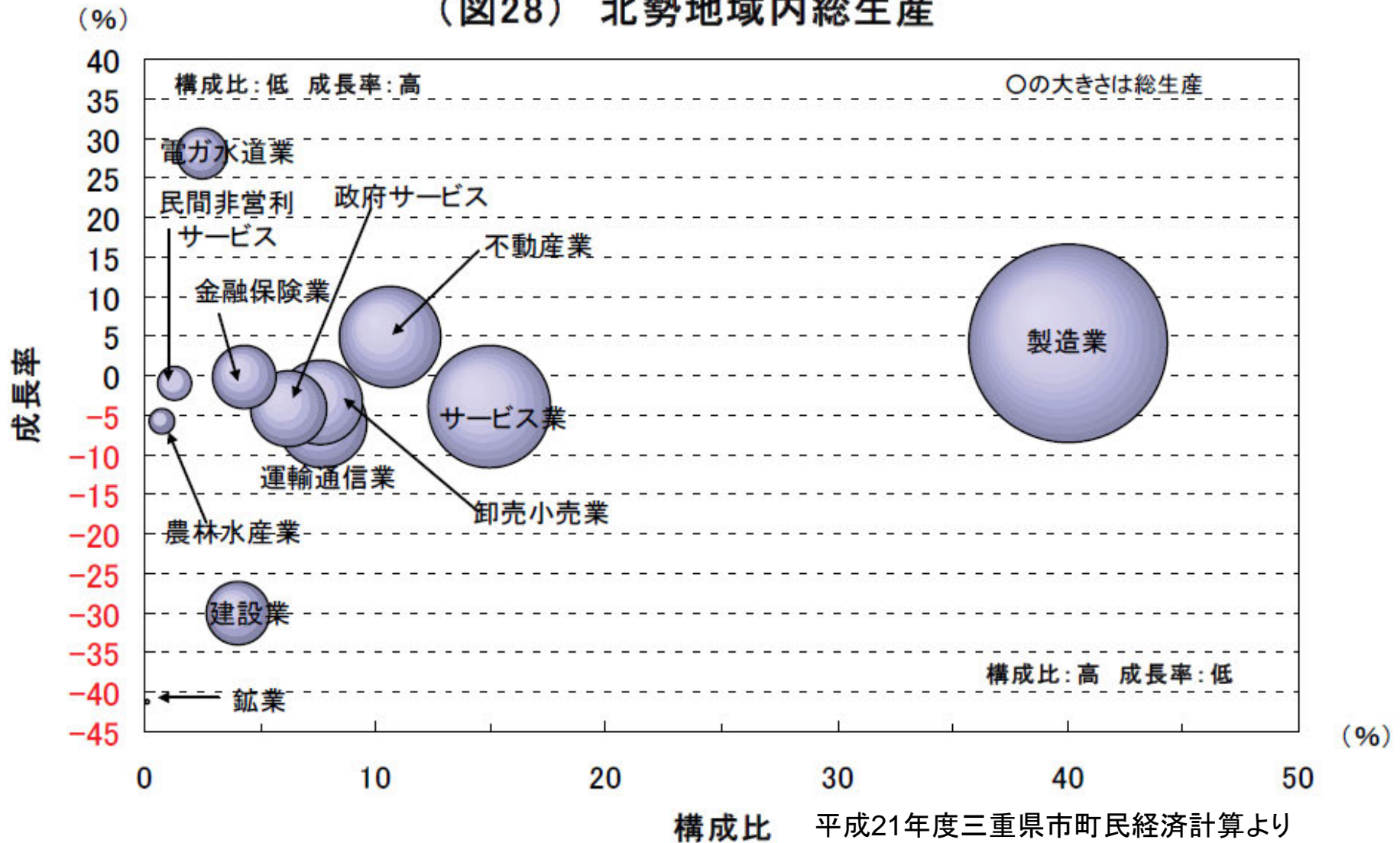
三重県全体の経済のイメージ



構成比 平成21年度三重県市町民経済計算より

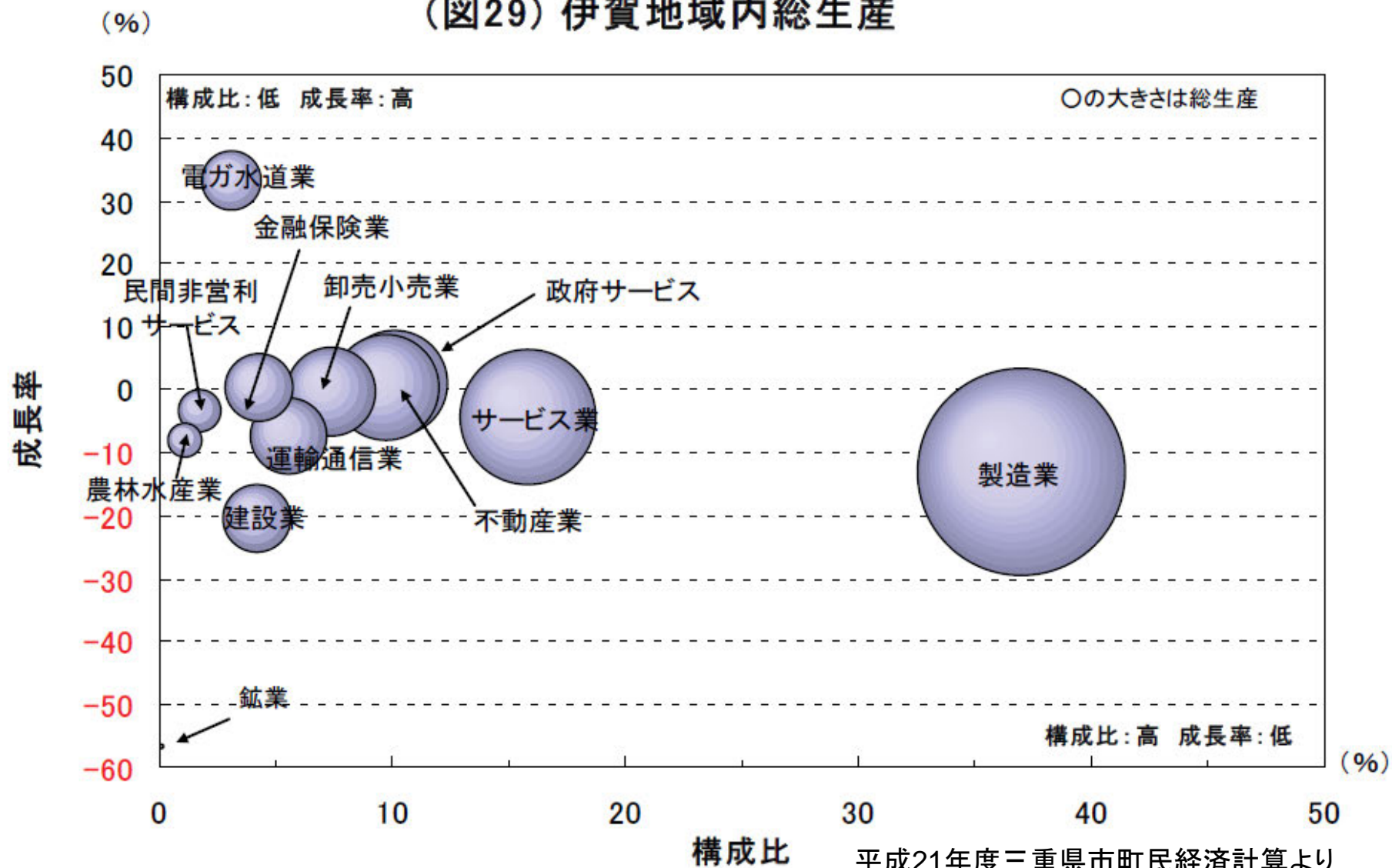
北勢地域／製造業が特に大きな割合

(図28) 北勢地域内総生産



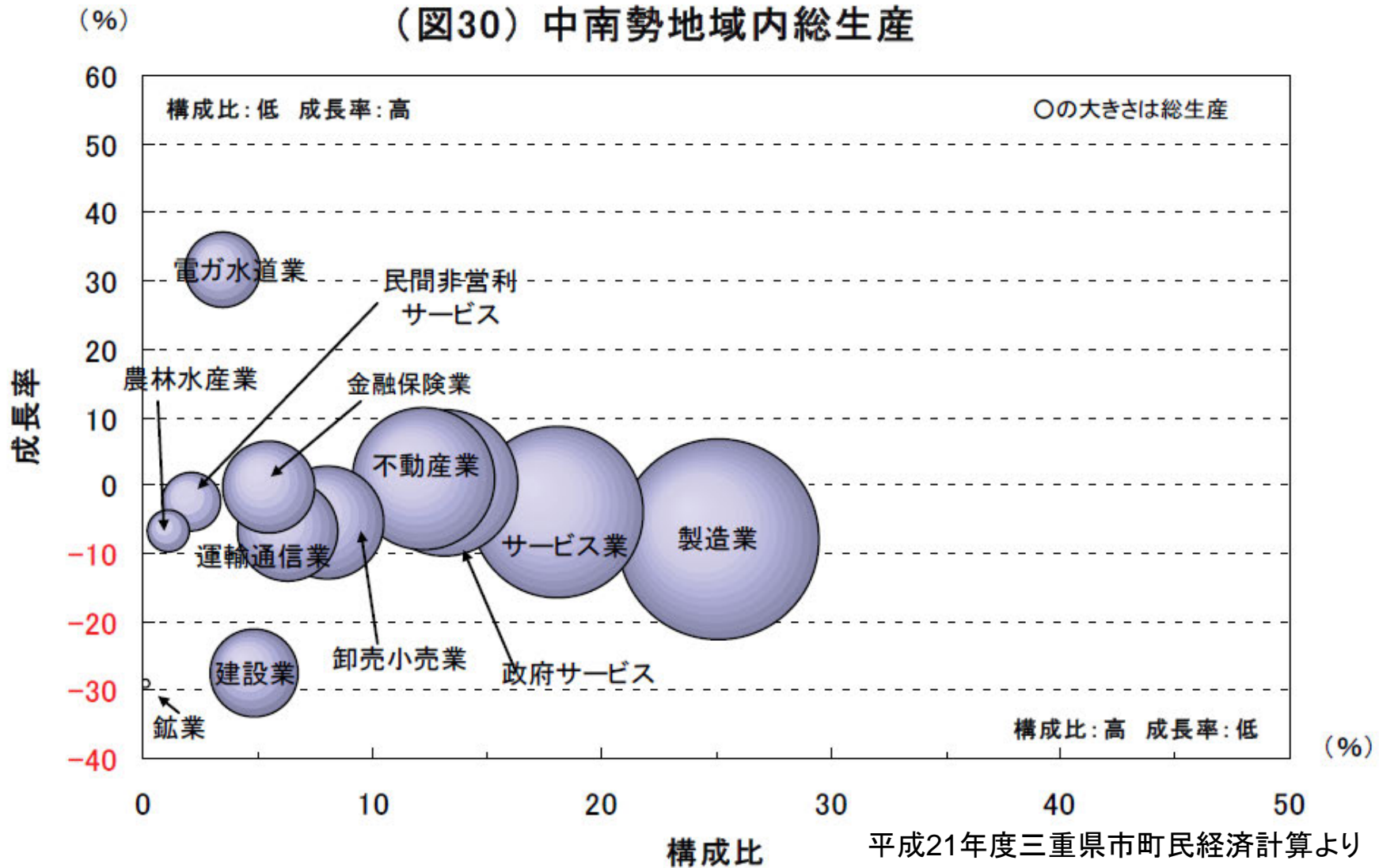
伊賀地域／北勢同様製造業が特に大きな割合

(図29) 伊賀地域内総生産



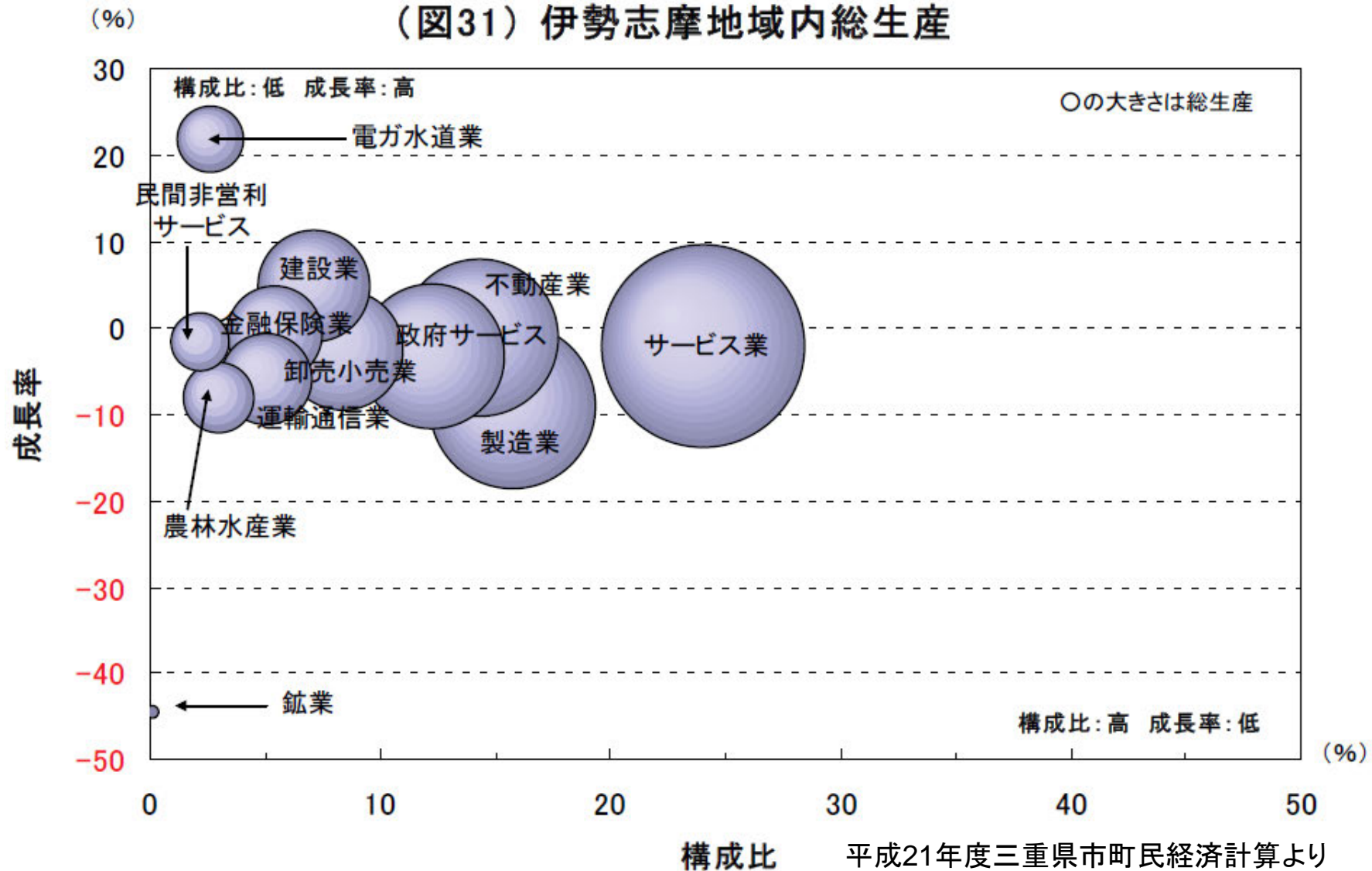
中南勢地域／製造業の割合が高いが、サービス業など他との差小さく

(図30) 中南勢地域内総生産



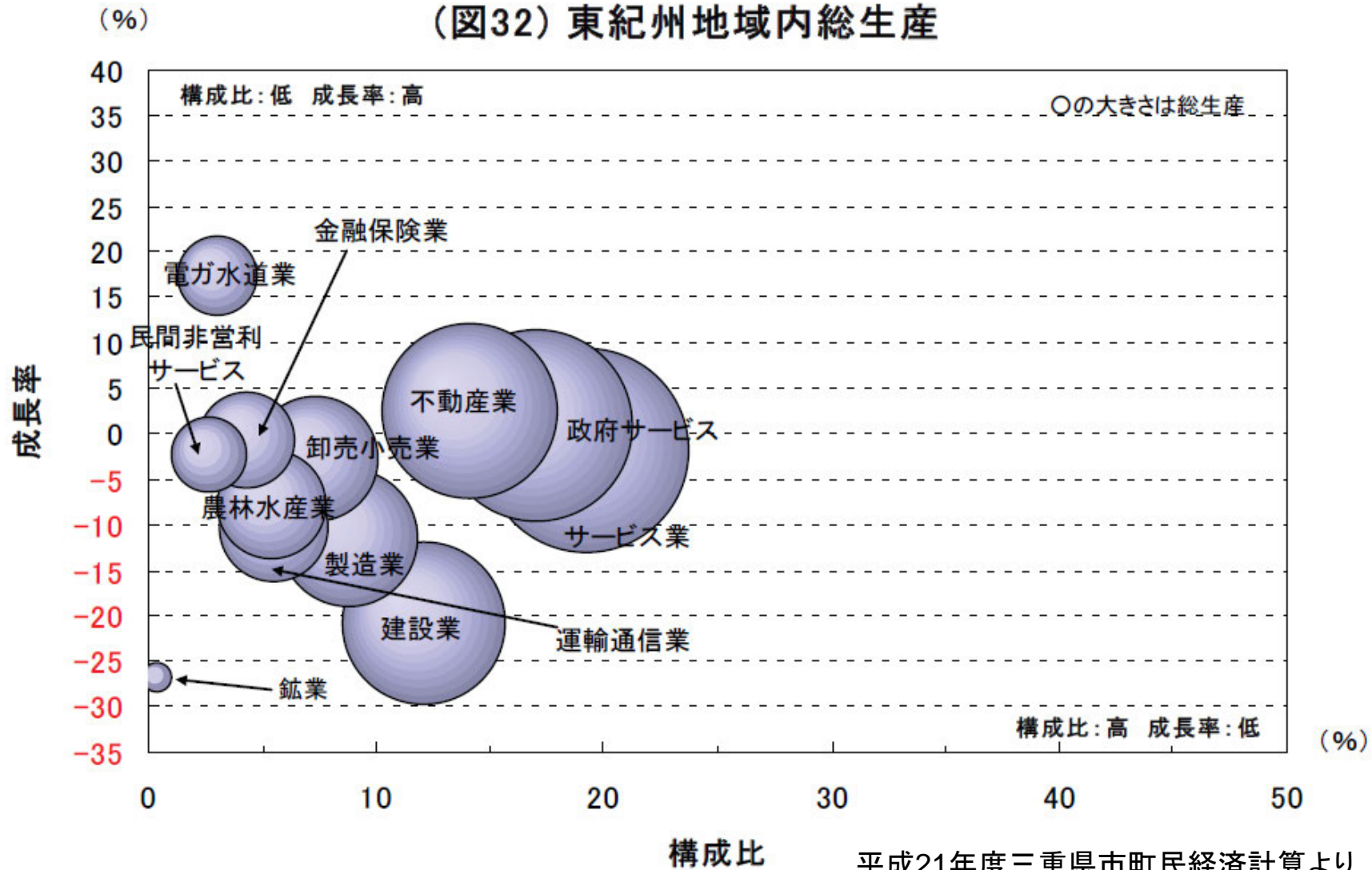
伊勢志摩地域／サービス業が最大の産業

(図31) 伊勢志摩地域内総生産



東紀州地域／サービス業に続いて 政府サービスが大きな割合

(図32) 東紀州地域内総生産



平成21年度三重県市町民経済計算より

有効求人倍率、北勢・伊賀は大きく振れ易く、 東紀州は振れ小さい

安定所別有効求人・求職状況(学卒を除き、パートを含む。)

	三重県			四日市			伊勢			津			松阪		
	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率
16	35,386	29,381		7,956	5,392		3,357	3,862		6,417	4,983		4,695	3,458	
17	38,463	27,069	1.42	8,617	5,074	1.70	3,973	3,646	1.09	7,602	4,730	1.61	4,727	3,136	1.51
18 年	38,120	27,086	1.41	8,721	5,073	1.72	4,168	3,513	1.19	7,771	4,401	1.77	5,084	3,489	1.46
19 度	35,345	25,629	1.38	8,341	4,808	1.73	3,599	3,331	1.08	6,936	4,309	1.61	4,719	3,473	1.36
20 平	26,622	29,203	0.91	5,391	5,502	0.98	3,065	3,535	0.87	5,698	4,806	1.19	3,569	4,006	0.89
21 均	18,079	41,523	0.44	3,302	7,858	0.42	2,348	4,780	0.49	3,797	6,487	0.59	2,579	5,272	0.49
22	22,313	35,983	0.62	4,054	7,379	0.55	2,828	4,309	0.66	4,399	5,526	0.80	3,240	4,597	0.70
23	25,145	33,550	0.75	5,057	6,743	0.75	2,911	4,023	0.72	4,445	5,218	0.85	3,309	4,290	0.77
	桑名			伊賀			尾鷲			熊野(出)			鈴鹿		
	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率	有効 求人数	有効 求職者数	有効 求人倍率
16	3,785	3,129		2,917	3,210		572	902		445	783		5,242	3,662	
17	4,608	2,834	1.63	3,381	3,049	1.11	581	652	0.89	408	694	0.59	4,566	3,254	1.40
18 年	3,669	2,696	1.36	3,852	3,320	1.16	582	629	0.93	437	741	0.59	3,837	3,225	1.19
19 度	3,500	2,394	1.46	3,557	3,114	1.14	542	598	0.91	436	662	0.66	3,716	2,941	1.26
20 平	2,913	3,020	0.96	2,325	3,553	0.65	494	561	0.88	377	640	0.59	2,788	3,582	0.78
21 均	1,786	4,368	0.41	1,594	5,155	0.31	461	680	0.68	309	678	0.46	1,902	6,245	0.30
22	2,504	3,873	0.65	1,953	4,255	0.46	513	638	0.81	387	631	0.61	2,435	4,777	0.51
23	2,869	3,674	0.78	2,681	3,773	0.71	478	631	0.76	482	641	0.75	2,914	4,558	0.64

少子化、高齢化が進展 大紀町、南伊勢町では高齢化率40%を超える

■年齢3区分別地域別人口		平成22年10月1日現在				
(注1)総人口には年齢不詳を含む。 (注2)高齢化率は年齢不詳を除いて算出。		総人口	15歳未満人口	15~64歳人口	65歳以上人口	高齢化率
		人	人	人	人	%
	合 計	1,854,724	253,174	1,142,275	447,103	24.3
	北勢地域	840,179	123,214	534,701	175,505	20.9
	四日市市	307,766	44,026	196,593	65,609	21.4
	桑名市	140,290	20,392	88,084	29,981	21.7
	鈴鹿市	199,293	30,510	127,780	38,500	19.6
	亀山市	51,023	7,311	32,400	10,957	21.6
	いなべ市	45,684	6,345	29,043	10,282	22.5
	木曾岬町	6,855	797	4,466	1,592	23.2
	東員町	25,661	3,373	16,946	5,289	20.7
	菰野町	39,978	6,123	24,553	9,051	22.8
	朝日町	9,626	2,025	5,801	1,757	18.3
	川越町	14,003	2,312	9,035	2,487	18.0
	中勢地域	502,450	66,627	306,831	125,236	24.9
	津市	285,746	37,466	175,473	69,937	24.7
	松阪市	168,017	22,749	103,016	41,525	24.8
	多気町	15,438	1,935	8,961	4,417	28.8
	明和町	22,833	3,307	13,829	5,668	24.9
	大台町	10,416	1,170	5,552	3,689	35.4
	南勢地域	255,026	31,500	148,617	73,800	28.9
	伊勢市	130,271	16,967	78,666	33,681	26.0
	鳥羽市	21,435	2,468	12,541	6,374	29.8
	志摩市	54,694	6,212	30,835	17,588	32.2
	玉城町	15,297	2,444	9,367	3,475	22.7
	度会町	8,692	1,166	5,160	2,365	27.2
	大紀町	9,846	943	4,947	3,930	40.0
	南伊勢町	14,791	1,300	7,101	6,387	43.2
	伊賀地域	177,491	22,724	109,570	44,799	25.2
	名張市	80,284	10,560	51,424	18,066	22.6
	伊賀市	97,207	12,164	58,146	26,733	27.5
	東紀州地域	79,578	9,109	42,556	27,763	34.9
	尾鷲市	20,033	2,168	10,645	7,201	36.0
	熊野市	19,662	2,078	10,301	7,252	36.9
	紀北町	18,611	1,984	9,779	6,781	36.6
	御浜町	9,376	1,252	4,974	3,150	33.6
	紀宝町	11,896	1,627	6,857	3,379	28.5

資料：総務省「国勢調査」より
当社作成

地域別人口：東紀州地域人口減少率再び上昇、北勢地域を除き人口減少の時代に

■地域別の人口推移

年	北勢地域		中勢地域		南勢地域		伊賀地域		東紀州地域	
	人口	増減率	人口	増減率	人口	増減率	人口	増減率	人口	増減率
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
昭和40年	558,593	8.1	418,714	△0.4	288,634	0.0	125,671	△3.9	122,855	△4.5
45年	594,736	6.5	428,297	2.3	283,205	△1.9	123,703	△1.6	113,142	△7.9
50年	647,040	8.8	452,069	5.6	286,671	1.2	129,328	4.5	110,894	△2.0
55年	682,878	5.5	467,358	3.4	287,573	0.3	140,070	8.3	109,057	△1.7
60年	718,327	5.2	481,852	3.1	288,384	0.3	153,320	9.5	105,428	△3.3
平成2年	753,698	4.9	489,328	1.6	283,431	△1.7	166,685	8.7	99,372	△5.7
7年	784,238	4.1	498,905	2.0	282,229	△0.4	181,348	8.8	94,638	△4.8
12年	805,292	2.7	500,873	0.4	275,817	△2.3	184,818	1.9	90,539	△4.3
17年	823,631	2.3	507,021	1.2	267,685	△2.9	182,779	△1.1	85,847	△5.2
22年	840,179	2.0	502,450	△0.9	255,026	△4.7	177,491	△2.9	79,578	△7.3

(注1)各年10月1日現在
(注2)5年間の増減率

資料：総務省「国勢調査」より当社作成

三重県地域産業振興条例に期待すること

- 三重県行政が行う産業振興、地域活性化の施策に、大きな方向性を示す
- 県行政が行っている施策が、条例の理念に沿っているか、実施内容・状況が適切かについて評価する際の指針になる
- 議員の方々に、大きな視点で地域産業の振興、地域の活性化に常に関心を持ち、関わる意識を持っていただく

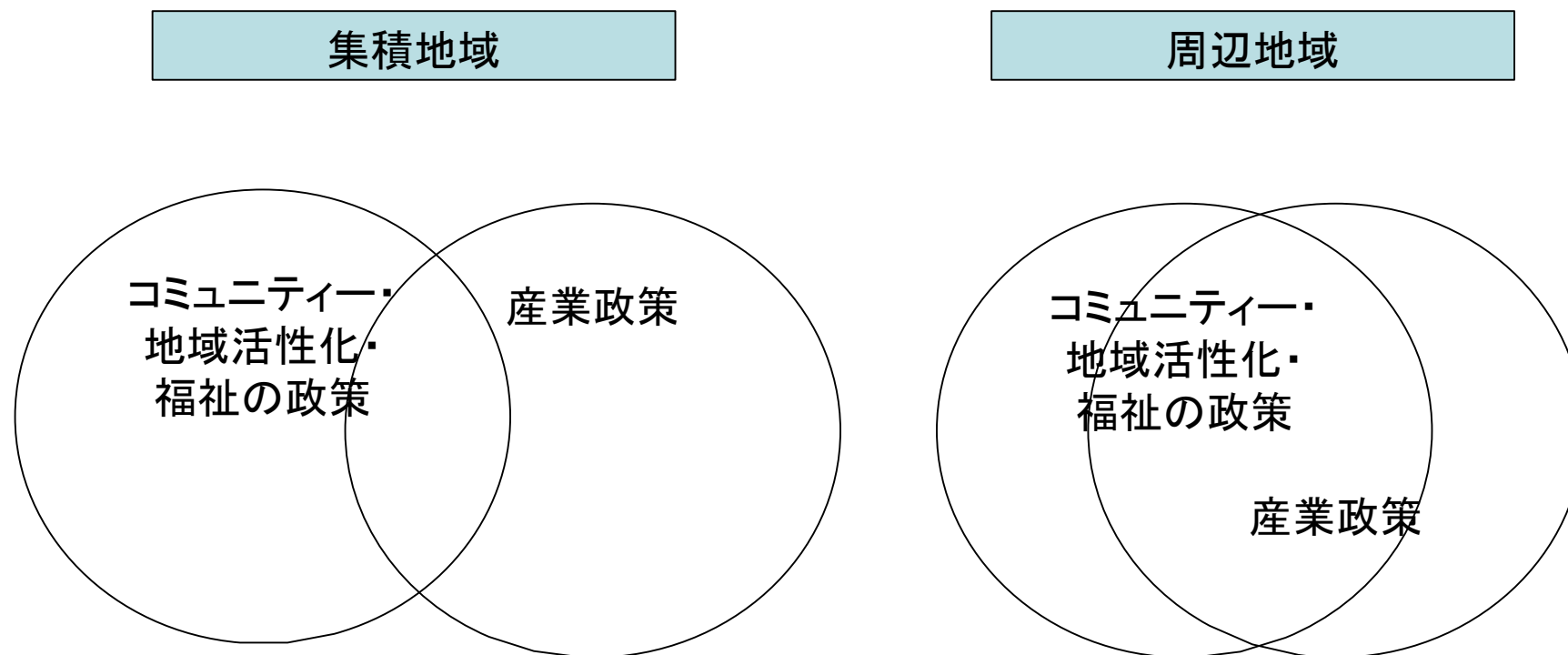
県、事業者、県民が果たすべき 役割について

- 県が過度に枠をはめたり、誘導をするのは芽をつんだり、誤った誘導になる懸念。県は、本条例に沿った方向で発展しよう、新たな分野を拓こうとする企業をサポートする役割が正しいのでは。
一方で、事業者、県民に県としてどのような方向を目指し、期待しているのか、また、目指す姿を示し、アピールしていくことは必要。
- 事業者、県民に「努めなければならない」と条例では表現されているが、少し違和感。その環境を県議会や県が整えることが必要では。県民が関心を持つための事業、事業者の意識を高める施策が求められるのでは/(地物一番の日などはよく定着)

条例の内容について

- 国際化は全ての産業、事業者に関わるようになっており、世界との関わりを視野に置くことが求められるようになってきている
- 産業が集積している地域については、県全体の産業振興の中での対応（地域特性を一部加えて）でよいのでは
- 周辺地域については、地域活性化、コミュニティの維持、生業の継続といった視点と産業振興を合わせて考える必要

集積地域と周辺地域での政策イメージ



- 東紀州地域などの周辺地域では産業政策とコミュニティ維持の政策が大きく重なり合うのでは

周辺地域につき補足してお伝えしたいこと

・地方中心都市の果たしている重要な役割

- 働く場、教育、医療、商業が一定集積する、松阪市や伊勢市が人口流出を抑えるダムのような役割を果たしている
- 車で行き来が比較的容易な地方中心都市に子供家族が住み、日常生活を扶助されることで、周辺地域に住む高齢者が暮らし続けられている

・地域コア企業、産業の重要性

- 人材を引き止める、U・I ターンの受け皿となる
- 地域活性化の基盤となる、誇りの基となる

・小さくとも現金収入は重要

- 暮らしていくには現金必要。生きがい、社会とのつながりの確認にもなる
- 一つの仕事だけで稼ぐのでなくとも良いのでは。百姓化も一つの方向

以上、
発言の機会をいただき
ありがとうございました。